

UNESCO CREATIVE CITIES NETWORK



XVII Annual Conference
**Culture and Artificial Intelligence:
Shaping the Future of
UNESCO Creative Cities**

23 - 24 June 2025
Enghien-les-Bains, France

第17回 ユネスコ創造都市ネットワーク 年次総会
参加報告およびUCCN国内都市会議について

テーマ：
文化と人工知能 |
ユネスコ創造都市の未来を形作る

開催日程：2025年7月23日-24日

開催都市：アンギャンレバン（フランス）

報告者：江坂恵里子

ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会
プログラム・ディレクター
名古屋市観光文化交流局文化芸術推進課
国際交流専門員（文化振興）



UCCN年次会議は、都市を中心としたユネスコの旗艦プログラムとしてのネットワークの役割を強化する重要なプラットフォームであり、文化に焦点を当てた2030アジェンダの目標を支援しています。今年の議論は、MONDIACULT 2025にも反映され、2030年以降の持続可能な開発アジェンダにおいて文化を独立した目標として認識するよう促す動きを強め、そのプロセスにおける地域的側面の重要性を強調します。



2025年、世界中約200の加盟創造都市から500名を超える代表者が、「文化と人工知能：ユネスコ創造都市の未来を形作る」というテーマのもとに集いました。

持続可能な都市成長を支援しながら、人工知能（AI）と文化発展を融合させる新たな方法を共に模索。

活発な議論を通して、テクノロジー、文化、そして持続可能性がどのように交差するかを考察し、AIがもたらす課題と刺激的な機会の両方を探りました。

テーマ別セッション： 持続可能な都市開発のためのクリエイティブセクターへのAIの統合

加盟都市の取り組みによるパネルディスカッション

本会議では、ユネスコの「人工知能の倫理に関する勧告」にも焦点が当てられ、文化・創造分野における責任ある人間中心のAIの必要性が強調されました。イノベーションの拠点として、ユネスコ創造都市の中で、AIの意義深く、包摂的かつ倫理的な活用を促進する枠組みの構築を先導している都市の事例を共有しました。



発表都市からの意見まとめ

懸案事項

- **カスタマイズ vs. 標準化：**

AI生成コンテンツの均質化を避け、独自性、地域性、文化に根ざした創造性を育む。

- **透明性とトレーサビリティ（追跡可能性）：**

アーティストは、AIデータの出所、学習方法、そして保有する権利を理解する必要がある。

- **インクルージョンと公平性：**

AIが排除を助長しないよう配慮する。依存ではなく、批判的思考を促進する。

- **法的基盤：**

緊急に必要：AI知的財産法、著作権基準、クリエイターの権利保護。

- **倫理的利用：**

AI主導のあらゆる創作プロセスにおいて、人間の存在感と主体性を維持する。

今後の展開に向けたアドバイス

- **研修と能力開発を優先する：**

地域に知識のエコシステム（学校、ハブ、カフェ、レジデンスなど）を構築する。

- **アーティストのためにではなく、共にデザインする：**

アーティストのビジョンをサポートするようにAIツールをカスタマイズする。逆ではない。

- **文化の独自性を守る：**

地域特有の表現の独自性と真正性を尊重する。

- **長期的な計画を立てる：**

単発のパイロットプログラムにとどまらず、デジタルクリエイティビティのための持続可能なインフラと資金を整備する。

- **政策枠組みにAIを組み込む：**

文化戦略と開発目標にAIを確実に統合する。

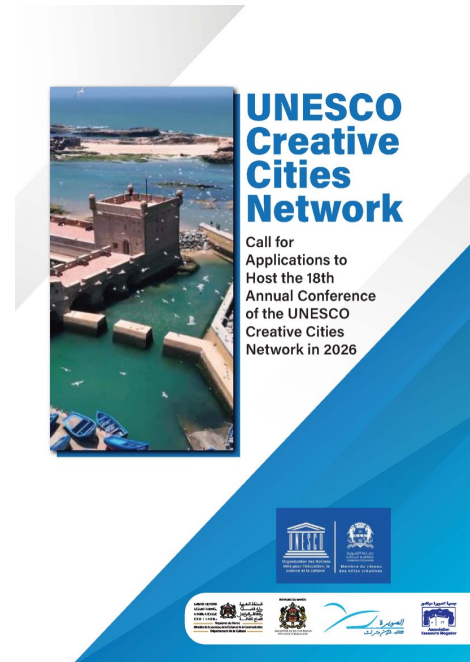
国際協力を深め、新たな分野横断的なコラボレーションを促進することを目的とした「創造都市フェア」を開催

- ① 都市同士が交流し、共同イニシアチブの可能性について議論するネットワーキング・スペース「パートナーシップ・ハブ」
- ② 選ばれた都市がクリエイティブ・プロジェクトを共有し、コラボレーションへの招待を表明するプラットフォーム「ショーケース・ステージ」

この新たな取り組みは、文化的創造性とイノベーションに根ざした新たなグローバル・パートナーシップの基盤を築きました。



次回2026年（R8）は
モロッコのエッサウィラ
（音楽）で開催が決定
*開催時期は未定



日本からの参加都市10都市



UCCN国内都市ネットワーク会議

UCCN国内都市会議・CCNJ国際ネットワーク部会 同日開催

UCCN国内都市会議の目的

UCCN国内加盟都市間で情報や課題の共有、相互連携を進め、都市間のネットワーク強化と創造都市相互の発展に資するため。

CCNJとの同日開催の目的

UCCN加盟都市とCCNJ国際ネットワーク部会参加都市の連携を深め、UCCN加盟やネットワーク活用への機運を高めるとともに、情報連携により文化や創造性による都市政策を発展させるため。



これまでのUCCN国内都市開催実績（開催都市は加盟都市順）と文化プログラム

- 第1回 H30(2018) **名古屋市** 名古屋城本丸御殿内でのトークイベント
第2回 H31/R1(2019) **神戸市** 「TRANS」特別ツアー
第3回 R2(2020) **金沢市** 金沢工芸フェスティバル・卯辰山工房訪問
第4回 R3(2021) **札幌市** (オンライン)

○CCNJ国際ネットワーク部会との合同会議開催に向けた検討を開始

- 第5回 R4(2022) **浜松市** (オンライン)
第6回 R5(2023) **鶴岡市** 加茂水族館・松ヶ岡開墾場、鶴岡シルク など

第1回合同会議開催

- 第7回 R6(2024) **丹波篠山市** 兵庫県立美術館・丹波焼窯元・古民家群探訪など
※希望者のみ県内の神戸市ツアーも実施

第2回合同会議開催

- 第8回 R7(2025) **山形市** 山形国際ドキュメンタリー映画祭・Q1訪問
※希望者のみ県内の鶴岡市ツアーを実施

今後のUCCN国内都市会議開催予定

- R8(2026) 旭川市 R9(2027) 臼杵市 R10(2028) 岡山市

第8回 UCCN国内都市ネットワーク会議

UCCN国内都市会議・CCNJ国際ネットワーク部会 同日開催

R7年度（2025）の開催概要

開催日時：10月14日（火） 13:30 – 17:00

開催都市：山形市（山形市保健所会議室）

UCCN国内都市

国内外の加盟都市との連携事業の実施に向けた企画や運営など、より実践的で具体的な事項について協議・情報交換を行います。

※ 参考（前年度（令和6年度）の議題）：2025年度年次総会への参加について | 各都市主催事業における加盟都市間の連携について | 海外都市との連携事業の実績について | 海外への送金方法について | フォーカルポイントについて等、実務的な課題の共有

CCNJ国際ネットワーク部会

取組みの紹介（具体的には鎌倉市（東アジア文化都市）の取組）や意見交換

R7年度（2025）

エクスカージョン（文化プログラム）

10月15日（水）

午前～15:00「山形国際ドキュメンタリー映画祭」/やまがたクリエイティブセンター「Q1」
訪問後県内の食文化都市鶴岡市へ移動（希望者のみ）

10月16日（木）鶴岡市 出羽三山羽黒山斎院ほか訪問



Yamagata City of Film
ユネスコ創造都市やまがた

YAMAGATA International
Documentary Film Festival 2025
山形国際ドキュメンタリー映画祭 2025
10月9日[木]ー16日[木] October 9ー16

